

台風 の季節です！

強い風と大量の雨をもたらす台風は、地震や集中豪雨と違って、ある程度襲来時期や大きさを予測することができません。日ごろから気象情報に注意して、万全の対策を心掛けましょう。

万全の対策で備えよう

台風には十分な警戒を！

台風の死傷者の多くは強風によるものです。台風の接近中に屋根の上っついで飛ばされて転落したり、家や船、田等の見回りなど屋外での作業中に起こっています。また、大雨により河川等が増水するおそれがありますので、近づかないようにしましょう。

早めに台風に対する備えを完了し、強風時にはなるべく屋外へ出ないようにしましょう。

台風が近づいたら

台風が近づいたら、ラジオ・テレビ等の台風情報や気象情報に注意し、万が一のときに余裕を持って行動ができるよう万全の対策をとりましょう。

夜の停電に備えて

停電になっても慌てないよう、事前に懐中電灯や携帯ラジオを決まった場所に置いておきましょう。

電柱が倒れたりすると、長時間にわたり停電する場合があります。

ます。予備の電池や食料品・飲料水を十分用意し、風呂には水を張り（幼児の浴槽への落下に注意）、トイレなどに使う生活用水を確保しておきましょう。

家のまわりの安全点検

・家のまわりの飛ばされそうなものは取り込んでおく
・住宅の瓦、雨戸、アンテナ等の補強をしておく

・水路のゴミや土砂、住宅の雨どいの掃除をしておく

避難の準備

・避難場所を確認し、家族みんなて避難経路の話し合いをしておく（避難所は広報ながら6月1日号に掲載）

・避難に備えて、乳幼児や病人、高齢者の支度を整えておく

台風通過後の確認

・家のまわりに破損箇所はないか点検する

山口県土木防災情報

システムを活用しよう

市内の河川（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川）の水位や雨量等の情報は、山口県土木防災情報システムで見ることが出来ます。

■山口県土木防災情報システム
http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp

ハザードマップを

活用しよう

市では洪水ハザードマップ（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川に関する世帯）と地震防災マップを配布しています。

洪水や土砂災害の危険性を認識していただき、いざというときのために役立ててください。

長門市防災メールを

活用しよう

市では、あらかじめ登録した人に気象情報・避難情報や、交通安全、海上安全、防犯、国民保護の情報などを携帯電話やパソコンなど、メール受信できる機器に配信しています。

登録は無料ですが、メールを受信するときにかかる通信料は自己負担となります。

●登録・変更方法

1 登録・変更用のアドレス、

e-nagato@xpressmail.jp

へ空メール（件名や本文を入力しないメール）を送信してください。QRコード対応の携帯電話をご利用の場合は下図からアドレスを読み込みます



2 登録・変更用メールが届きます。メール本文内に記載されたアドレスにアクセスしてください

3 登録・変更画面の指示に従って、必要な情報や地域にチェックしてください

4 「登録」ボタンを押して登録完了です

●解除方法

1 解除用アドレス

e-nagato-d@xpressmail.jp

へ空メールを送信してください

2 解除用メールが届きます。本文内に掲載されたアドレスにアクセスしてください



多くのみなさんの登録をお待ちしています。

自主防災組織で

たちむかおう

台風や地震、大雨、がけ崩れ、地すべりなどの災害は、いつ起きるかわかりません。市や関係機関が総力をあげて応急活動を行います。市民のみなさんの自主的な防災活動があれば被害を最小限度に食い止めることができます。

自主防災組織は、自治会など地域活動の組織を活かして結成されるのが一般的です。

自主防災組織の活動内容

- 平常時
 - ・ 防災知識の普及
 - ・ 地域の災害危険の把握
 - ・ 防災訓練
 - ・ 火気使用設備器具の点検
 - ・ 防災資材などの備蓄
- 災害時
 - ・ 情報の伝達および収集
 - ・ 出火防止、初期消火
 - ・ 避難誘導、救出、救護
 - ・ 給食、給水

地域防災計画を

見直しました

地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、都道府県、市町村の防災会議が地域の実情に即して作成する、災害対策全般に

わたる基本的な計画です。

市では、6月および7月に長門市防災会議を開催して、長門市地域防災計画を見直し、地震の被害想定や災害時要援護者対策などについて、修正を行いました。

なお、日本海側の津波については、現在、県が被害想定調査を行っていますので、その調査結果を地域防災計画に盛り込んでいく予定にしています。

全国一斉の緊急情報の

伝達試験を実施します

地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システムから送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段を用いて確実に皆様へお伝えするため、**市内で緊急情報伝達手段の試験**を行います。ご理解とご協力をお願いします。

●日時 9月12日(水) 10時ごろと10時30分ごろ（2回）

- 試験を行う情報伝達手段
 - ・ ほつちやテレビのし字放送
 - ・ ケーブルテレビ網告知放送
 - ・ 長門市防災メール
 - ・ FMアーク

■問い合わせ 総務課地域安全推進室 Tel 23・1111

台風三二知識

台風とは

北西太平洋の海上で発生した熱帯性低気圧で、中心付近の最大風速が毎秒17.2m (m/s)以上になったものです。

台風のエネルギー

平均的な台風の持つエネルギーは、広島、長崎に落とされた原子爆弾の10万個分に相当する大きなものです。しかし、海上との摩擦により、エネルギーが少なくなると日本に近づいてきます。

台風の「大きさ」と「強さ」

台風を表す言葉として台風の「大きさ」と「強さ」があります。「大きさ」は「強風域（平均風速15m/s以上の強い風が吹いている範囲）」の半径の大きさを判断します。また「強さ」は「最大風速」で表します。

さらに、強風域の内側で平均風速25m/s以上の風が吹いている範囲を「暴風域」と呼びます。

大きさ

| | | |
|-----|---------|---------|
| 大型 | 500km以上 | 800km未満 |
| 超大型 | 800km以上 | |

強さ

| | | |
|-------|---------|---------|
| 強い | 33m/s以上 | 44m/s未満 |
| 非常に強い | 44m/s以上 | 54m/s未満 |
| 猛烈な | 54m/s以上 | |